

ジャワにおける陸軍中野学校出身者の情報・工作活動とその光の局面

——柳川宗成大尉の遺稿から

澤田次郎

本稿は、太平洋戦争期のジャワにおける陸軍中野学校出身者、とくに柳川宗成大尉の情報・工作活動を考察するものである。結論として以下を指摘することができる。

第1に、柳川は青年道場、およびその延長線上にあるジャワ防衛義勇軍の幹部錬成隊・幹部教育隊・特設遊撃隊、ならびに回教青年挺身隊において、中野学校で受けた教育を応用し、「誠の精神」を用いて、インドネシア青年を訓練した。

第2に、第16軍参謀部別班における柳川らの情報・工作活動の成功面と失敗面を考察した。中野学校で基礎的な教育を受けるとともに、適応力と柔軟性を備えていたこと、通訳など優秀なメンバーが別班に集まっていたことが彼らを成功に導いた。一方、無電通信が拙劣であったこと、人事異動がミスキャストを引き起こしたこと、陸軍と海軍の対立などが彼らの活動にブレーキをかけた。